

新型コロナウイルス感染症への対応ポリシー

山村学園短期大学

報道等によりご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るっており、日本国内においても感染の拡大が懸念されております。本学として、このようなリスクを最小限に抑えるために、全力で対応してまいります。

一方で保育士及び幼稚園教諭の養成校として、日本社会を支える保育者養成のために、本学がこれまで培ってきた質の高い教育を最大限維持することは、本学に課せられた大きな使命でもあります。

本学では、学生および保護者の皆さま、教職員の安全を確保するとともに、本学の使命を全うするため、下記のこと全力で取り組みます。

1. 授業について

緊急事態宣言の期間中、4月22日から遠隔授業を行います。

2. 検温・健康チェック

学生、教職員を対象に、健康チェックシートにより、毎朝の検温と体調チェックを実施します。

3. 一斉メールの活用

一斉メールを活用し、学生、保護者への即時的な連絡を行います。

4. 新しい学務システムの導入

遠隔授業、ペーパーレス・レポート、双方向システムを新たに導入します。

5. 授業時間帯の変更（緊急事態宣言後の授業開始時）

朝夕の混雑を避けるために、授業の時間帯を変更し、遅く出て早く帰れる授業時間帯を創設します。

6. 教室の変更(緊急事態宣言後の授業開始時)

密集をできるだけ避けるため、より大きな教室への変更、複数教室への変更を行います。

7. 授業毎の消毒（緊急事態宣言後の授業開始後）

授業終了ごとに、使用した機器、機材、ドアノブなどの消毒を実施いたします。

8. 非接触型体温計の使用（緊急事態宣言後の授業開始後）

朝の検温を忘れた学生や体調がよくない学生に対して、非接触型体温計で検温を実施します。